

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1079), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1109), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1110), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1115), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for performance metrics, budget, and impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (1117), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫, (7)目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1121), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1122), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by year (2022-2025).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1123	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	市民参加型コンサート		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.18人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,685千円 (うち人件費 1,602千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	53102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市第3次生涯学習推進計			
(2) 目的	施策目的・展開方向	幅広い年代の市民が新たに文化芸術に親しめるよう、イベントや活動団体の情報を広く発信するとともに、ふれる機会や参加する機会の充実を図ります。また、さまざまな分野で我孫子の自然や風土をいかした新たな文化芸術活動が生まれるよう、個人や団体への支援に努めます。			事業目的	市内在住、在勤、在学の音楽家たちが出演するコンサートを開催し、多くの市民に鑑賞してもらう。							
(3) 事業内容	内容	市内各会場において、若手音楽家のみならず様々な年齢層で、クラシックに限らず多彩なジャンルのコンサートをテーマに沿って実施する。			当該年度執行計画	若者たちが構成する合唱団と様々な楽器のアンサンブル演奏会を実施する。							
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	回	想定値	1		
	当該年度	多くの市民に鑑賞いただけるよう周知する。			直接	実施回数		回	0	実績値	0		
	令和4年度	同上			直接	同上		回			1		
	令和5年度	同上			直接	同上		回			1		
	(7) 事業実施上の課題と対応	出演者が固定化しないよう募集方法を検討し、幅広い年齢の方に鑑賞していただけるコンサートを展開していく必要がある。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			消耗品費 印刷製本費	20 79		消耗品費 印刷製本費	20 63		消耗品費 印刷製本費	20 63		消耗品費 印刷製本費	20 63
		予算(決算)額	合計		99	合計	83	合計	83	合計	83		
		(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.18		0.18		0.18		0.18		0.18			
	正職員人件費	1,566		1,602		1,602		1,602		1,602			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,665		1,685		1,631		1,685		1,685			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1,665千円/回		1,685千円/回		0								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	市内には、音楽家を目指している若者をはじめ、音楽活動をしている人々が発表する機会を望んでいる。また、やすらぎや交流の場を求めている方や子育て世代の方に、生演奏を気軽に鑑賞できるコンサートを提供する必要があります。市民プラザ、アビスタ、湖北地区公民館を順番に会場にし実施したい。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要		
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止となった。										
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市主導で行うことで、テーマに沿ったまとまりのある事業を展開できる。		○要 ●不要		
	●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要		
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		市内在住、在勤、在学の音楽家たちが出演するコンサートである。		新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止となった。感染状況を見ながら、実施の手法等を工夫・検討していく。		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ●③当初の期待以下				
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				環境に負荷を与えるものではない。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった				
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (回)	目標値 (b) (回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標値達成 ●②目標値未達成			
	0	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (回)	0		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止となった。			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		対事業費 (%)		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	1,631		96.8		<想定どおり削減できなかった原因> 新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止となった。	
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>						
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	△1.2										
	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		対目標値 (%)		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	0.06	単位	費用単位	10万円	実績値 (h)	0		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症拡大のため事業中止となった。			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					



事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1125), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状) and improvement directions (改善策及び展開方向).

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1126	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 文化財の保護・活用 個別事業 不特定遺跡発掘調査	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	4人 (換算人数)	0.12人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 5,860千円 (うち人件費 1,068千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 53302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市第3次生涯学習推進計	
(2) 目的	施策目的・展開方向	開発により消失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。			事業目的	住宅建設等に伴って破壊される遺跡において発掘調査を実施することにより、正確に記録保存を行い、文化財の重要性を広く市民に知らせていく。				
(3) 事業内容	内容	我孫子市内に所在する遺跡において住宅建設などに伴って現状が変更される場合、試掘を実施し、古代人の住まいや生活の痕跡である遺構が確認された場合、本調査を実施することとなる。不特定遺跡発掘調査とは個人専用住宅の本調査や、民間開発事業に伴う本調査範囲を決めるための確認調査をさし、市民生活に直結するため、小規模ながらも迅速に実施する必要がある。調査後は出土した遺物や記録類を整理し、報告書刊行に備える。			当該年度執行計画	試掘の結果を受けて、確認調査、本調査を行なう場合、できるだけ速やかに実施し、年度内に調査終了するよう調整をはかる。				
		当該年度活動結果指標	発掘調査執行率	単位	%	想定値	100	実績値	100	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	年度内に発生した発掘調査案件を全て完了する。			直接	発掘調査実施率(実施件数/発掘調査しなければならない件数)	%	100	100		
令和4年度	年度内に発生した発掘調査案件を全て完了する。			直接	発掘調査実施率(実施件数/発掘調査しなければならない件数)	%		100		
令和5年度	全ての発掘調査案件を正確に記録し保存する。			直接	発掘調査実施率(実施件数/発掘調査しなければならない件数)	%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	件数が前年度に予測できないため、柔軟な対応が必要となる。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		需用費(消耗品費、印刷製本費)	460	需用費(消耗品費、印刷製本費)	423	171	需用費(消耗品費、印刷製本費)	423	需用費(消耗品費、印刷製本費)	423
		修繕料	41	修繕料	41	39	修繕料	41	修繕料	41
		通信運搬費	22	通信運搬費	3	3	通信運搬費	22	通信運搬費	22
遺跡地図システム保守委託	220	遺跡地図システム保守委託	220	220	遺跡地図システム保守委託	220	遺跡地図システム保守委託	220		
遺跡管理ソフト使用料	634	遺跡管理ソフト使用料	634	634	遺跡管理ソフト使用料	634	遺跡管理ソフト使用料	634		
使用賃借(重機等借上料)	1,237	使用賃借(重機等借上料)	1,389	907	使用賃借(重機等借上料)	1,389	使用賃借(重機等借上料)	1,389		
史跡整備協議会負担金	4	史跡整備協議会負担金	4	0	史跡整備協議会負担金	4	史跡整備協議会負担金	4		
98公用車 燃料費	67	98公用車 燃料費	60	63	98公用車 燃料費	60	98公用車 燃料費	60		
98公用車 車検修繕料	74	98公用車 車検修繕料	129	88	98公用車 車検修繕料	129	98公用車 車検修繕料	129		
98公用車 車検代行・点検手数料・自賠責保険	41	98公用車 車検代行・点検手数料・自賠責保険	56	55	98公用車 車検代行・点検手数料・自賠責保険	56	98公用車 車検代行・点検手数料・自賠責保険	56		
98公用車 自動車重量税	13	98公用車 自動車重量税	13	9	98公用車 自動車重量税	13	98公用車 自動車重量税	13		
不特定遺跡発掘調査を行う会計年度任用職員	1,736	不特定遺跡発掘調査を行う会計年度任用職員	1,801	20	不特定遺跡発掘調査を行う会計年度任用職員	1,801	不特定遺跡発掘調査を行う会計年度任用職員	1,801		
9月補正 会計年度任用職員 交通費	300									
予算(決算)額	合計	4,849	合計	4,773	2,209	合計	4,792	合計	4,792	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 21.9%	1,000	補助率 21.9%	1,000	1,000	補助率 21.9%	1,000	補助率 0%	0
	県支出金	補助率 4.4%	200	補助率 4.4%	275	275	補助率 4.4%	275	補助率 0%	275
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
	一般財源		3,649		3,498	934		3,517		4,517
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.11		0.12	0.12		0.11		0.11	
	正職員人件費	957		1,068	1,068		979		979	
	嘱託職員報酬額	0		0	0		0		0	
	臨時職員賃金額	0		0	0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,806		5,841	3,277		5,771		5,771	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		58.06千円/%		58.41千円/%	32.77					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	・文化財保護法第99条に基づき損壊する恐れのある埋蔵文化財は事前に記録保存を行わなければならない。 ・埋蔵文化財は過去の歴史を知るための貴重な資料であり、消滅の恐れのあるものは後世に伝えるために、正確に記録保存をしなければならない。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 市民生活に直結する開発等を滞らせることなく、文化財保護法に定められた発掘調査を円滑に進めることができた。								
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ■⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他				○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 千葉県等の指導により、発掘調査は第一義的に市が直営事業で実施するものとされ、民間調査機関は事務量的に市が受けられない場合に限られる。また、専門的な業務のため、市民での実施は不可能である。				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他				中小学校の児童生徒を受け入れ、体験発掘等を実施している。				○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				環境に負荷を与えるものではないが、重機などの発掘に関係ある車両の使用を最小限にするように業務を調整している。				○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 課内の協力をもって、業務推進を行った。		
					100	100			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった		
	5,841	△35	<削減の内容>		3,277	56.1	<想定どおり削減できなかった原因> 発掘調査の件数が想定より少なく、考古遺物整理を行う経費が少なくなったため。		
	事業費削減率(%)								
△0.6									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	1.71		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 発掘調査の件数が想定より少なかったため、業務調整することができた		
					3.05	178.36			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度から結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1128), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1129	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-----	-----	-----

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 文化財の保護・活用 個別事業 民間開発発掘調査	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	4人 (換算人数)	0.14人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 12,201千円 (うち人件費 1,246千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 53302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市第3次生涯学習推進計		
(2) 目的	施策目的・展開方向	開発により消失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。			事業目的	住宅建設等に伴って破壊される遺跡において発掘調査を実施することにより、正確に記録保存を行い、文化財の重要性を広く市民に知らせていく。				
(3) 事業内容	内容	我孫子市内に所在する遺跡において住宅建設などに伴って現状が変更される場合、試掘を実施し、古代人の住まいや生活の痕跡である遺構が確認された場合、本調査を実施することとなる。民間開発発掘調査とは、個人専用住宅以外の開発事業に伴う本調査をさす。個人専用住宅に伴う不特定遺跡発掘調査よりも面積が大きく、調査費用が事業者負担となっているため、計画的に発掘調査を実施する必要がある。調査後は出土した遺物や記録類を整理し、報告書刊行に備える。			当該年度執行計画	試掘、確認調査の結果をうけて本調査を行う場合、出来るだけ速やかに実施し、年度内に調査終了するよう調整をはかる。				
		当該年度活動結果指標	発掘調査執行率	単位	%	想定値	100	実績値	100	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	年度内に発生した発掘調査案件を全て完了する。			直接	発掘調査実施率(実施件数/発掘調査しなければならない件数)	%	100	100		
令和4年度	年度内に発生した発掘調査案件を全て完了する。			直接	発掘調査実施率(実施件数/発掘調査しなければならない件数)	%		100		
令和5年度	全ての発掘調査案件を正確に記録し保存する。			直接	発掘調査実施率(実施件数/発掘調査しなければならない件数)	%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	件数が前年度の予測できないため、柔軟な対応が必要となる。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		需用費(消耗品、印刷製本費)	280	需用費(消耗品、印刷製本費)	280	17	需用費(消耗品、印刷製本費)	280	需用費(消耗品、印刷製本費)	280
		委託料	850	委託料	850	0	委託料	850	委託料	850
		使用賃借料(重機等借上料)	2,500	使用賃借料(重機等借上料)	2,500	658	使用賃借料(重機等借上料)	2,500	使用賃借料(重機等借上料)	2,500
備品購入費	100	備品購入費	100	0	備品購入費	100	備品購入費	100		
民間開発発掘調査を行う会計年度任用職員	7,146	民間開発発掘調査を行う会計年度任用職員	7,225	1,117	民間開発発掘調査を行う会計年度任用職員	7,225	民間開発発掘調査を行う会計年度任用職員	7,225		
予算(決算)額	合計	10,876	合計	10,955	1,792	合計	10,955	合計	10,955	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		0		204		204		204	
その他の財源	□特会 ■受益 □基金 □その他	10,876	□特会 ■受益 □基金 □その他	10,751	1,792	□特会 ■受益 □基金 □その他	10,751	□特会 ■受益 □基金 □その他	10,751	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.13	0.14	0.14	0.13					
	正職員人件費	1,131	1,246	1,246	1,157					
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0					
	臨時職員賃金額	0	0	0	0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		12,007	12,201	3,038	12,112					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		120.07千円/%	122.01千円/%	30.38						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))						改善検討
	・文化財保護法第99条に基づき損壊する恐れのある埋蔵文化財は事前に記録保存を行わなければならない。 ・埋蔵文化財は過去の歴史を知るための貴重な資料であり、消滅の恐れのあるものを後世に残すために、正確に記録保存をしなければならない。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 文化財保護法第99条・99条に基づき、開発等によって破壊される恐れのある埋蔵文化財は発掘調査をしなければならない。本年度は民間開発に伴う発掘調査を2件実施し、記録保存ができた。						○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>						○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			発掘調査の従事者は大半が我孫子市民である。また、調査結果については、学校教育等に活用し市民還元している。			市内の小中学校を対象とした体験発掘、現場見学会の実施。			○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ●③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症防止並びに調査の期間的制約から、市内小中学校に向けた体験発掘や見学会が実施できなかった。
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容			実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>			発掘調査もたらず成果は自然環境と歴史環境とのつながりを強調し、環境意識の向上に役立つ。			環境に負荷を与えるものではないが、重機などの使用を最小限にとどめるよう心掛けた。			●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 案件ごとに、速やかに実施した。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ●②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因> 本年度に発生した案件が想定よりも少数だったため。			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.82		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 受益者負担により行われる事業であるため。				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。									

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1130	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 文化財の保護・活用	個別事業 考古遺物整理	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数)	0.11人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	24,509千円 (うち人件費 979千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	53302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市第3次生涯学習推進計
(2) 目的	施策目的・展開方向	開発により消失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。			事業目的	開発等により消失する埋蔵文化財を歴史的遺産として後世に伝えるため、発掘調査により記録保存した資料を整理・研究し、報告書として刊行する。				
(3) 事業内容	内容	国内から個人専用住宅等に関する埋蔵文化財発掘調査補助金を受けており、出土した遺物（土器・石器・金属器等）、調査記録類（図面・データ・写真類）を整理し、埋蔵文化財報告書を作成しなくてはならない。このほかに、我孫子市では民間開発・区画整理等の発掘調査について、基礎的な整理をしたものの、埋蔵文化財報告書が未完のものが160次分残っている。このうち特に出土遺物が豊富で、学術的に重要な根戸船戸古墳群、下ヶ戸貝塚、鹿島前遺跡、新木東台遺跡、新木南遺跡群等については政策的に報告書刊行を実施する必要がある。報告書を作成した後は、市民に広くその成果を公開し、電腦考古博物館、生涯学習事業、学校教育事業に活用し、文化財の保護・啓発につなげていく。			当該年度執行計画	補助金等に関する発掘調査報告書を1冊刊行するほかに、下ヶ戸貝塚ほかの重要な遺跡について、国庫補助金を活用して政策的に報告書を刊行する。				
		当該年度活動結果指標	刊行冊数	単位	冊	想定値	3	実績値	3	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	報告書の刊行				直接	刊行冊数(累計)	冊	65	68	
令和4年度	報告書の刊行				直接	刊行冊数(累計)	冊		70	
令和5年度	全ての発掘調査に係る報告書を刊行し、埋蔵文化財を正確な記録(データ)として後世に残す。				直接	刊行冊数(累計)	冊		72	
(7) 事業実施上の課題と対応	ページ数等が前年度に予測できなかったため、柔軟な対応が必要となる。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		重要遺跡発掘調査報償費	135	重要遺跡発掘調査報償費	225	195	重要遺跡発掘調査報償費	225	重要遺跡発掘調査報償費	225
		需用費(消耗品費・印刷製本費)	1,300	需用費(消耗品費・印刷製本費)	1,634	1,634	需用費(消耗品費・印刷製本費)	1,634	需用費(消耗品費・印刷製本費)	1,634
		通信運搬費	44	通信運搬費	63	110	通信運搬費	44	通信運搬費	44
委託料(文化財保存・石材同定)	431	委託料(文化財保存・遺物写真切抜)	2,988	2,884	委託料(文化財保存・遺物写真切抜)	2,988	委託料(文化財保存・遺物写真切抜)	2,988		
使用賃借(DTP/パソコン・コピー機)	165	使用賃借(DTP/パソコン・コピー機)	172	130	使用賃借(DTP/パソコン・コピー機)	172	使用賃借(DTP/パソコン・コピー機)	172		
備品購入費	40	備品購入費	39	55	備品購入費	39	備品購入費	39		
北西部地区担当者会議負担金	20	北西部地区担当者会議負担金	20	10	北西部地区担当者会議負担金	20	北西部地区担当者会議負担金	20		
98旅費(普通・研修)	27	98旅費(普通・研修)	32	2	98旅費(普通・研修)	32	98旅費(普通・研修)	32		
98公用車 燃料費	67	98公用車 燃料費	60	63	98公用車 燃料費	60	98公用車 燃料費	60		
98公用車 車検修繕料	74	98公用車 車検修繕料	98	88	98公用車 車検修繕料	98	98公用車 車検修繕料	98		
98公用車 手数料・自賠責保険	41	98公用車 手数料・自賠責保険	56	55	98公用車 手数料・自賠責保険	56	98公用車 手数料・自賠責保険	56		
98公用車 重量税	5	98公用車 重量税	5	9	98公用車 重量税	5	98公用車 重量税	5		
考古遺物整理を行う会計年度任用職員(流用) 重要遺跡発掘調査報償費	16,602	考古遺物整理を行う会計年度任用職員(流用) 重要遺跡発掘調査報償費	18,157	10,772	考古遺物整理を行う会計年度任用職員	18,157	考古遺物整理を行う会計年度任用職員	18,157		
考古遺物整理を行う会計年度任用職員(流用) 遺物処理委託料	△131	流用 草刈委託料(文化財施設の管理・活用)から	47							
予算(決算)額	合計	18,951	合計	23,596	16,007	合計	23,530	合計	23,530	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 13.5%	2,490	補助率 13.5%	4,075	3,130	補助率 13.5%	4,075	補助率 0%	4,075
	県支出金	補助率 3.6%	671	補助率 3.6%	815	627	補助率 3.6%	815	補助率 0%	815
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
	一般財源		15,790		18,706	12,250		18,640		18,640
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.11	0.11		0.1		0.1	
	正職員人件費	870		979	979		890		890	
	嘱託職員報酬額	0		0	0		0		0	
	臨時職員賃金額	0		0	0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		19,821		24,575	16,986		24,420		24,420	
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)		9,910.5千円/冊		8,191.67千円/冊	5,662					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	1. 文化財保護法により、記録保存した埋蔵文化財は整理・研究の上、公に刊行しなければならない。 2. 埋蔵文化財は、昔の暮らしや歴史を知る上で貴重な資料であり、正確な記録として残さねばならない。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 発掘調査において記録保存した情報を基に発掘調査報告書を作成することができた。								
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他				○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容>				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				発掘調査には専門知識と経験が必要であり、市民の参加や協働は難しいため、報告書刊行をもって市の歴史・文化を普及活用する段階において協働が可能だと考えられる。				
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				○要 ●不要
	取組む内容				環境への配慮				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(冊)		目標値(b)(冊)		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	65		68		実績値(f)(冊) 68 達成率(%) (f/b×100) 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 業務を調整し、予定通り報告書を刊行することができた。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円) 24,575 事業費削減額(d)(千円) △4,754 事業費削減率(%) △23.98		■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 16,986 対事業費(%) (g/c)×100 69.12		<想定どおり削減できなかった原因> 発掘調査の件数が想定より少なく、考古遺物整理を行う経費が少なかったため。		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.28		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 0.4 対目標値(%) (h/e)×100 142.86		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 発掘調査の件数が想定より少なく、業務調整のうえ報告書刊行を遅滞なく進められたため。		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1132), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1133), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向, 評価コメント.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1134), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1135	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	歴史・文化遺産活用		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課					
	③事業主体	個別事業	市史調査研究		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ●全市								
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.33人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当初	9,133千円	うち人件費	2,937千円					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	53302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	我孫子市第3次生涯学習推進計			
(2) 目的	施策目的・展開方向	開発により滅失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。				事業目的	我孫子の歴史・文化遺産を把握・収集・記録し後世に残していく。							
(3) 事業内容	内容	・市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進め、『我孫子市史』を補完する報告書、資料集を刊行する。また研究した内容を講演会やイベントを通じて市民に普及していく。 ・市内に残る古文書の実態把握を行う。				当該年度執行計画	・楚人冠資料、市内諸家文書等の整理・調査をはじめとする市史資料の分析、研究。 ・市内に残る古文書の実態把握を行い報告書を年度末迄に刊行する。 ・資料用書棚を配置し、資料室の整備を行う。							
		当該年度活動結果指標	刊行冊数	単位	冊	想定値	2		実績値	2				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	調査、収集等の完了					直接	市史関係図書刊行数		冊	88	90			
令和4年度	調査、収集等の完了					直接	市史関係図書刊行数		冊		92			
令和5年度	調査、収集等の完了					直接	市史関係図書刊行数		冊		94			
(7) 事業実施上の課題と対応	資料調査には所有者の承諾を得る必要がある。					代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		報償費(市史資料調査)	10	報償費(市史資料調査)	10	報償費(市史資料調査)	10	報償費(市史資料調査)	10	報償費(市史資料調査)	10	報償費(市史資料調査)	10	
		需用費(消耗品・印刷製本費)	256	需用費(消耗品・印刷製本費)	252	需用費(消耗品・印刷製本費)	232	需用費(消耗品・印刷製本費)	252	需用費(消耗品・印刷製本費)	252	需用費(消耗品・印刷製本費)	252	
		役員費(通信運搬費)	27	役員費(通信運搬費)	27	役員費(通信運搬費)	17	役員費(通信運搬費)	27	役員費(通信運搬費)	27	役員費(通信運搬費)	27	
		委託料(和紙公園修復業務委託)	983	委託料(和紙公園修復業務委託)	1,390	委託料(和紙公園修復業務委託)	1,310	委託料(和紙公園修復業務委託)	1,390	委託料(和紙公園修復業務委託)	1,390	委託料(和紙公園修復業務委託)	1,390	
		使用料及び賃借料(施設使用料)	1	備品購入費(DTP用PC等)	376	使用料及び賃借料(事務機器使用料)	212	使用料及び賃借料(事務機器使用料)	125	使用料及び賃借料(事務機器使用料)	125	使用料及び賃借料(事務機器使用料)	125	
		備品購入費(図書購入)	18	備品購入費(図書購入)	10	備品購入費(図書購入)	2	備品購入費(図書購入)	10	備品購入費(図書購入)	10	備品購入費(図書購入)	10	
		負担金(史料保存連絡協議会)	8	負担金(史料保存連絡協議会)	8	負担金(史料保存連絡協議会)	4	負担金(史料保存連絡協議会)	8	負担金(史料保存連絡協議会)	8	負担金(史料保存連絡協議会)	8	
		98旅費(普通・研修)	11	98旅費(普通・研修)	10	98旅費(普通・研修)	8	98旅費(普通・研修)	10	98旅費(普通・研修)	10	98旅費(普通・研修)	10	
市史調査研究を行う会計年度任用職員8人	2,926	市史調査研究を行う会計年度任用職員4人	2,067	市史調査研究を行う会計年度任用職員4人	1,971	市史調査研究を行う会計年度任用職員5人	4,001	市史調査研究を行う会計年度任用職員5人	4,001	市史調査研究を行う会計年度任用職員5人	4,001			
9月補正 会計年度任用職員報酬	△464	市史編さん備品購入費(資料用書棚)	1,278	市史編さん備品購入費(資料用書棚)	1,059									
9月補正 会計年度任用職員交通費	218	市史調査研究を行う会計年度任用職員( )	1,019	市史調査研究を行う会計年度任用職員( )	1,036									
		3月補正(事務用備品購入費)	△383											
予算(決算)額	合計			合計			合計			合計				
	3,994			6,064			5,861			5,833				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源		3,079		4,616	5,861		4,385			4,385			
	その他の財源	□特会 ■受益 ■基金 □その他	915	□特会 ■受益 ■基金 □その他	1,448	0	□特会 ■受益 ■基金 □その他	1,448	□特会 ■受益 ■基金 □その他	1,448	1,448			
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.37		0.33	0.33		0.37			0.37			
	正職員人件費		3,219		2,937	2,937		3,293			3,293			
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0			0			
	臨時職員賃金額		0		0	0		0			0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	7,213			9,001			8,798			9,126				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3,606.5千円/冊			4,500.5千円/冊			4,399							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))						改善検討	
	・我孫子市の歴史を調査・記録保存することは市の文化財として、また市民の知る権利や知的好奇心を満たすものとして不可欠である。 ・歴史をひもとくことにより現在の状況を把握し、未来のまちづくりへの原動力が生まれる。 ・まちや人の営みが長く限り、歴史は積み重ねられていくもので継続して記録・活用していく必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 次世代に引き継ぐ歴史資料は様々な形態で存在し、年々増加している。旧家から新たに発見された未整理資料の調査が令和3年度から本格的に始まり、順調に調査・研究を進めることができた。						○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他						○要 ●不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容>							
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容						改善検討	
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 歴史・文化財に係る市民団体と連携し、共同主催として講演会などの実施を検討する。						○要 ●不要	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				実施した具体的な内容						改善検討	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				環境に負荷を与えるものではない。						○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(冊)				目標値(b)(冊)				達成状況			改善検討
	88				90				●①目標達成 ○②目標未達成 実績値(f)(冊) 90 達成率(%) 100			○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減				実施状況						改善検討	
	事業費(c)(千円) 9,001 事業費削減額(d)(千円) △1,788				実績値(g)(千円) 8,798 対事業費(%) 97.74						○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)				達成状況						改善検討	
	0.02				●①目標以上 ●②目標と同程度 ○③目標以下						○要 ●不要	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1138), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdowns for fiscal years 2020-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市の必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定, (6) 効果性, and (7) 目標達成.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 現状と対応, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1139), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2022, 2023, 2024, and 2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1143), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future improvement strategies.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1144), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1145), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a table for status (推進, 縮小, etc.) and a comment section.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1147), 課コード (1602), 会計種別, 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a note about the transition from fiscal year 2021 onwards.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1150), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.



事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (1153), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫, (7)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes text: '事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。' and '令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。'

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1521), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市の必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定, (6) 効率性, and (7) 目標値の実現.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future action plans.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1839), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for FY2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1988	課コード	1602	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用			実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	生涯学習部・文化・スポーツ課			
	③事業主体	個別事業	武道施設の建設整備の検討			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成25年度 ~ 令和3年度			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.02人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円			当該(開始)年度	(当初)	178千円 (うち人件費 178千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	51301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 第3次生涯学習推進計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に活動できる環境を整備するため、市民体育館など市のスポーツ施設の適正な維持管理を行うとともに、民間や近隣市町の体育施設を活用するなど、活動場所の確保に努めます。また、施設の修繕を計画的に実施するとともに、新たな武道施設の整備について、手法も含めて慎重に検討を進めていきます。				事業目的	体育館施設周辺の土地を活用し、武道ゾーン(弓道場・武道場)の整備として、活動場所の充実を図る。						
(3) 事業内容	内容	総合的な武道施設の整備に向けての検討を行う。 ・平成28年度から令和4年度(地権者動向調査、整備手法等の検討)				当該年度執行計画	整備に向けた検討						
		当該年度活動結果指標	地権者との交渉回数	単位	%	想定値	0						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	整備に向けた検討	間接	地権者との交渉回数	%	0	0							
令和4年度	施設整備手法の検討	間接	地権者との交渉回数	%		0							
令和5年度	地権者交渉	間接	地権者との交渉回数	%		0							
(7) 事業実施上の課題と対応	・市全体の事業進捗状況をみながらの計画となる。 ・施設の規模や周辺の土地利用計画策定後、基本設計へ移行する。 ・地権者との調整					代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		*	整備に向けた検討	0	*	整備に向けた検討	0	0	*	整備に向けた検討	0	整備に向けた検討	0
		合計	0	合計	0	合計	0	合計	0				
		予算(決算)額	0	0	0	0	0	0	0				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		0		0		0		0				
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.02		0.02		0.1					
	正職員人件費	870		178		178		890					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	870		178		178		890					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/%		0千円/%		0								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民体育館拡張計画の中で武道施設の整備を計画したが、地権者との交渉が難航し平成18年に計画を凍結したため市民体育館敷地内に武道場を設置したが、実施種目が限定されている。学校体育においても武道が必修科目となっている。日本の伝統文化を継承していく必要があるため総合的な武道施設の建設が必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 新たな土地買収に関しては、地権者との交渉が必要であり、また、農用地から除外する必要があることから、資料の収集となっている。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ●②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 武道場整備のための資料の整理	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		武道団体と意見交換を行い整備していく。		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要
	0	0	●①客観的なデータ・事実に基づき設定している ○②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		0	0	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新たな土地買収に関しては、地権者との交渉が必要であり、また、農用地から除外する必要があることから、資料の収集のみとなっているため。		
	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 178 事業費削減額(d)(千円) 692 事業費削減率(%) 79.54		実施予定の対策 <input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実施状況 実績値(g)(千円) 178 対事業費(%) 100		事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		0	NaN(非数値)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 資料の収集のみとなっているため。		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)					評価コメント				
事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2020), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2058), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table 1: 1. 事業の概要 (PLAN). Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by year (2022-2025).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Main body table 2: Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Footer table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a text box for comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2059), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for overall project assessment and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2085), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 一般, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for final assessment and improvement directions.



事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2235), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2250), 課コード (1602), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for FY2021-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the project's continuation and a note on the improvement strategy.